



創立 1993年12月1日  
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500  
 ホテル日航成田  
 TEL/FAXL 0476-24-5044  
 例会場 ホテル日航成田内  
 TEL 0476-32-1144

## 成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2022～2023年度 国際ロータリー会長のテーマ  
 イマジン ロータリー

【会長 ジェニファーE. ジョーンズ】

成田コスモポリタンRCターゲット  
 「みんなでつくろう！ “楽しいクラブ・元気なクラブ”」

〔会長：神谷 修一〕

### 第1392回例会

令和5年5月31日（水）

### 《 カンボジア視察研修報告 》

- ◇ 点 鐘 神谷 修一 会長
- ◇ ロータリーソング それでこそロータリー
- ◇ 四つのテストの歌
- ◇ お客様紹介 特定非営利活動法人（認定NPO法人）  
 ピープルズ・ホープ・ジャパン  
 広報室 南部 道子 様  
  
 カンボジア事務所長 石山 加奈子 様



#### ◇ 誕生日 ワインの贈呈

- 遠藤 忠義 会員 《12月25日》 大矢 桂介 会員 《1月14日》
- 市原 徹也 会員 《5月21日》



#### ◇ 会 長 挨拶      神谷 修一 会長



皆さんこんばんは。本日もご出席いただきありがとうございます。  
本日は第5周目と言う事々と、チョット事情がありまして夜間例会とさせて頂きました。

本日のお客様はカンボジアでお世話になっております。PHJの南部さんと本日はカンボジア事務所の石山所長です。PHJさんとはもう14年のお付き合いになります。この後カンボジア、コンポンチャムでの活動の総括と報告、そしてシュムリアップでの今後の計画について卓話をお願いします。

先週はお休みを頂き申し訳ありませんでした。またその前の週は親睦旅行を4年ぶりに行いました。京都へは上皇、上皇后さまと日にちが一緒になり、同じ新幹線だったらどうしようと思いつきながら京都につきましたが、警察の警備が始まったばかりでしたので、我々の方が早く着いたようです。誰のせいかわかりませんが、雨のために葵祭が順延になり、スケジュールが狂ってしまいましたが、たくさん歩いた観光でしたが、楽しく疲れた親睦旅行になりました。ちなみに、中日は16,500歩あるきました。

また、先週の金曜日に会員増強統括委員会の合同委員会が行われました。来月入会の星野さんのお店での開催でしたので、新入会員のレクチャーをしながら一年間の総括を行ったとても充実した委員会でした。皆様も今年度はあとひと月ですので、委員会を開催して頂きたいと思えます。委員長から話が無かったら委員の方から催促してください。宜しくお願いします。

皆さんお忘れではないと思いますが、今年の2月にカンボジア視察に行きましたが、その時添乗してくださったのが南部さん。そして現地で大変お世話になったのが石山さんです。藤崎政弘年度の時にリモートで授与式を行って頂いたのも石山所長でした。その後、例会のリモート参加で国際紛争についての講師をお願いしていたのですが、コロナの為に開催できなかった思い出があります。今年カンボジアに伺った折に、今年度中に例会でコンポンチャムでの活動の総括と今後のシュムリアップでの活動の予定についてお話を伺い、そのあとは懇親会を準備する約束をして来ましたので、本日実現してとてもホッとしております。

とにかく石山さんは飲みっぷりが良くて、つい誘われてしまいそうになります。付いて行くと何処かの紛争地域に連れていかれるかもしれないので、注意してください。

それではこの後、固い例会と楽しい懇親会を宜しくお願いします。

今日は時間ももったいないので、会長挨拶はこれくらいにしておきます。ありがとうございました。

## ◇ 幹 事 報 告

大竹 清治 幹事



・6月7日、14日は通常例会、21日の例会は2022-23年度の事業報告に関するクラブ協議会を行い、28日は最終例会となります。よろしくお願いいたします。

## 卓 話 「カンボジア視察研修報告」

特定非営利活動法人（認定NPO法人）ピープルズ・ホープ・ジャパン  
カンボジア事務所長 石山 加奈子 様



また皆さんの前でこうして活動の発表ができること、とてもうれしく思っております。本日は、ご支援いただいた地区補助金で実施された活動についての報告をさせていただきます。

まずこちらの写真はPHJと深い関係があります。原爆投下直後の広島。PHJの母体となるアメリカの国際協力NGOである Project HOPE の創立者はアメリカ人のウォルシュ医師。彼は第2次世界大戦時に軍医として太平洋におり、広島に原爆が落とされた直後にアメリカ人医師として一番初めに広島を訪れました。この時広島の惨状を見たことが、その後ウォルシュ医師が医療支援団体を設立しようと決意したきっかけでした。ウォルシュ医師は海軍から寄付された病院船を使って医療支援を始めました。私たちの団体PHJは、1997年 Project HOPE の日本支部としてプロジェクトHOPE ジャパンを設立しました。2001年には認定NPO法人（第一号）となり、2006年に現在のピープルズ・ホープ・ジャパンと改名しました。

「全ての人が健康で希望をもってらせるように。」これがPHJの理念であり、そのような世界を創るため、私たちは活動しております。この理念に共感し、ご支援してくださり、ありがとうございます。

私たちは、教育を中心とした自立支援を行っております。教育を通して現地の人々が自立し、自分自身でコミュニティや家族の健康を守れるようにします。

私たちのアプローチは、地域の人材が地域の発展に寄与することに焦点を当てています。つまり、現地が現地をサポートすることを、PHJがサポートします。

さて、カンボジアは2015年に低中所得国になりました。わたしたちの新事業地、シェムリアップにある世界遺産のアンコールワットの写真。シェムリアップ市の中心部は、とても発展しており、日本にあるようなモダンな建物、カフェ、ホテルなどがあります。

しかし都市部と農村地との間には、経済的な格差や社会的な格差が生じています。都市部の経済は発展する一方で、農村地の発展は遅れ、取り残されている地域住民がたくさんいます。



現在はよく貧困が注目されていますが、格差も社会に悪影響を及ぼします。貧困と格差が起こす問題は非常に複雑でシンプルには説明できませんが、一般的には貧困は生活水準を下げるなどの問題を生じます。格差は不平等を生じ、それに対する社会への不満が高まり、治安を悪化させる要素になります。貧困と共に、格差も社会の発展を妨げる大きな要素です。まだまだ、支援を必要とする人々はカンボジアにはたくさんいます。

カンボジアの保健状況を理解する上で歴史を知ることは重要です。特にクメールルージュ政権下の内戦は、カンボジアにとって重大な出来事でした。クメールルージュ政権は1975年から1979年まで続き、その間に数百万人の命が失われ、社会経済基盤は深刻な被害を受けました。クメールルージュ政権は農業集団化や強制労働などの政策を実施し、知識階級、宗教関係者などを標的とし、多くの人々が殺害されました。

医療従事者もその例外ではありませんでした。医療制度は破壊され、多くの医師や看護師が命を落としたり、迫害を受けて職を失いました。この状況は、医療の質とアクセスに深刻な影響を及ぼしました。内戦終結後、カンボジアの人々のほとんどが教育や医療サービスを受ける機会を奪われました。医療関係も含めた人材や施設の不足などが課題となり、保健状況の改善には多大な努力が必要であり、かなり改善はされたものの、いまだに過去の影響はまだ残っています。

その他、カンボジアの母子保健の課題として、産後の母子をあたためるためにベッドの下に火をおこす、子どもの具合が悪い時に臍に唐辛子を置く、妊産婦の具合が悪い時に酒を飲ませる、母乳の代わりにコメのとぎ汁を与える、といった健康を害する恐れのある風習が残っています。

カンボジアの保健課題は、設備不足、医療従事者の人数・能力不足、地域住民の保健知識不足が挙げられます。

今回ご支援していただいた地区補助金は、この3番目の問題に対応し、地域住民の保健知識向上にフォーカスした活動として実施しました。

貴クラブで2009-2010年度に国際奉仕委員を担当されておりました故野間口様が、PHJ募金部の大河内が都立西高等学校の級友だったことをきっかけに、成田コスモポリタンロータリークラブ様にカンボジアの活動に対するご支援をお願いしたことが始まりです。野間口様が逝去された後も、成田コスモポリタンロータリークラブ様はPHJへの支援を継続いただき、今日に至ります。

今回ご支援いただいたプロジェクトは「地方農村隔離地における感染症予防支援

(コンポンチャム州ストゥントロン保健行政区)」

活動内容は1) 衛生保健教育 2) 衛生キット配布、対象受益者は、保健センターへのアクセスの困難な2歳未満の子どものいる家庭(12村 485世帯)となります。

今年の2月に成田コスモポリタンロータリークラブの皆様が現地視察にいらっしゃいました。

2月20日にストゥントロン保健行政区では寄贈式典が行われ、地方病院を見学していただきました。こちらが、今回カンボジアを訪問していただきました、ハンサムな7人のお兄様がたです。また、ナリタちゃんとお母さんも皆さんの訪問を楽しみにしておりまして、ナリタちゃんのお出迎えもありました。そして、21日に村での保健教育を実施しました。

医療施設へのアクセスが困難な12つの村を対象に・衛生キャンペーン 実施・コロナ感染症対策、下痢症対策・正しい手の洗い方の実践・リーフレットの配布を実施しました。保健センタースタッフがまず保健教育を行い、その後成田コスモポリタンロータリークラブの皆さまに手洗いのデモンストレーションを行っていただきました。多数のお母さんが参加していました。啓発のリーフレットは感染症防止のための保健知識が掲載されています。手洗い、安全飲み水についてです。村では文字が読めない人も多く、絵の多いわかりやすいように作成しました。

衛生キットを 485 個配布しました。中身は石鹸 12 個、タオル 2 枚、洗剤 1 キロです。参加したお母さんからは「衛生キットをありがとうございます。大事に使います。学んだことを実践して子どもを病気から守ります。」村長からは「成田コスモポリタンロータリークラブ様は唯一現地に訪問して下さった日本のドナーです。農村地に住む私たちにとって、ビックなギフトで、誰もが喜んでいました。そして私たちの自尊心の向上に貢献しました。」という感謝のコメントをいただきました。

この度は、ご支援だけでなく、現地にも足を運んでいただき、本当にありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

そして、PHJ の新事業のお知らせです。私たちは過去にコンポントム州、コンポンチャム州で活動を実施してきました。3 月末に、コンポンチャムでのプロジェクトは完了しました。4 月からはシェムリアップ州にて新事業を展開します。コンポンチャムでは、すでに現地パートナーに活動をハンドオーバーしました。PHJ が進めてきた活動は、保健行政区の管轄で継続されます。また、各パートナーが話し合った結果、今後も事業で生み出されたポジティブな変化を継続するよう取り組んでいくとのことです。こちらは事業評価セミナーで今後 PHJ が撤退した後にどのように自立して健康向上に向けて自分たちで取り組んでいくかを話し合っ発表している様子です。

新事業地では、シェムリアップ州のソトニクム保健行政区にて下記のプロジェクトが実施されます。

●プロジェクト名：安心安全なお産のための保健システム強化支援事業

●プロジェクト目標：事業地における保健システムが強化され、安心安全な妊娠・出産が促進される（JICA 草の根技術協力事業）

途上国が自分自身で立ていけるようにサポートする支援が日本の国際協力です。「支援」というより「協働」と言った方がいいのかもしれませんが。支援をする側は、支援終了後も生み出した変化が持続可能になるように、プロジェクトを実施しなくてはなりません。支援が最終的には状況を悪化してしまった、という例もあります。持続可能な変化を生み出すには、現地の自立を促すことが必要です。言葉で言うことは簡単ですが実際に現地で活動していて、とても難しいことと実感しています。自立して、もう自分たちでできます、支援はいりません、と言われるような活動を行うことが、本当の意味で、途上国を、そしてそこにいる人を助ける、ということだと理解しております。

現地パートナーと NGO と、そしてもう 1 グループ、皆様のような日本から応援・支援して下さる方々の力を合わせると、その効果は 1+1+1 は 3 ではなく、8 にならず、「∞」無限大になるのではないのでしょうか。たくさんの方が協力することに



より、その効果は単なる足し算ではなく、相乗効果により素晴らしいことを生み出せると私は信じています。

私たちの支援は、自立を目指した教育支援です。派手ではなく、結果が見えるまでは長い時間が必要とします。地道に種を植えているようなものです。しかし、その種は必ず花になり、そこから少しずつ広がり、いずれたくさんの花が咲くでしょう。教育は目には見えない財産ですが、壊されることはなく、周りに広がります。今までの教育を中心とした取り組み、またこれから行う取り組みも、知識・教育として事業地外にも広まり、カンボジアの発展に貢献してくれると信じています。

◇ 点 鐘 神谷 修一 会長

【 懇 親 会 】

◇ 乾 杯 藤崎 政弘 会員





◇ 締め挨拶 沢田 克洋 会員



◇ 出席報告 \*メーキャップは前後2週間です。

|       | 日 付   | 会員数 | 免除 | 出席  | 欠席  | M U | 出席率    | 補正出席率  |
|-------|-------|-----|----|-----|-----|-----|--------|--------|
| 前々回修正 | 5月17日 | 70名 | 6名 | 33名 | 25名 | 8名  |        | 62.12% |
| 本日例会  | 5月31日 | 70名 | 5名 | 38名 | 20名 | 12名 | 71.43% |        |

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022